

令和5年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・教科全体として基礎では目標値を上回り、活用でも目標値と同程度だったことから、授業改善により児童の学力は着実に定着してきている。
- ・「聞くこと」の領域は、課題として取り組んできたことで、学習内容の定着が図られ、目標値を上回ることができた。

(2) 課題

- ・例文を参考にしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて英文で書くことに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率

【◎…目標値を上回った(+5以上) ○…目標値と同程度(±0～+4.9) ▲…目標値を下回った】

	令和5年度結果
第6学年	◎

(2) 分析(観点別)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を上回っている。「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のどの領域においても、力が着実に身につけている。 「音声を聞き、活字体を正しく書く」項目が目標値を下回っている。	正答率が目標値と同程度である。 「できることを表す英文を書く」項目が目標値を下回っている。	正答率が目標値と同程度である。 多くの児童が、外国語の学習に主体的に取り組むことができてきている。

3 授業改善のポイント(観点別)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のどの領域についてもバランスよく指導をしていく。 ○活字体の読み書きをする活動を定期的に授業に取り入れる。	○「例文を参考にしながら、自分のことや説明したいことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて英文で書く」場面を意図的に設定していく。	○児童が外国語の学習に主体的に取り組めるような課題を設定していく。